

## 平成24年度事業報告

関西国際空港を首都圏空港と並ぶ我が国の国際拠点空港に発展させていくため、LCC拠点としての機能や国際貨物ハブ空港としての機能など、関空の機能を着実に強化する活動として、次の事業に取り組んだ。

### I 各種会議等の開催及び要望活動の実施 決算見込額 579千円

国等関係機関との協議・調整活動を行うとともに、地元関係者や新関西国際空港(株)との間で、協議会運営などに関する合意形成に努めた。

また、国等関係機関に対して、関西国際空港及び大阪国際空港の一体的かつ効率的な設置及び管理に関する基本方針の実現に向け、あらゆる施策を講じるよう、要望活動を行った。

#### (1) 総会の開催

- ・開催日：平成24年8月3日
- ・議事：(1) 規約改正の件  
(2) 平成23年度事業報告及び収支決算の件  
(3) 平成24年度事業計画及び収支予算の件
- ・要望決議

#### (2) 理事会の開催

- ・開催日：平成24年7月24日
- ・議事：総会への付議議案について

#### (3) 理事・参与団体担当課長会議（事務局会議）の開催

- ・開催日：平成24年6月4日
- ・議事：(1) 関空の現状について  
(2) 平成23年度決算見込みについて  
(3) 平成24年度関西国際空港ゲートウェイ機能強化促進事業について

- ・開催日：平成24年7月23日
- ・議事：(1) 新関西国際空港(株)の経営戦略について  
(2) 平成24年度促進協総会及び総会議案について  
(3) 平成24年度促進協要望について

- ・開催日：平成25年1月22日
- ・議事：(1) 関空の現状等について  
(2) 関西国際空港ゲートウェイ機能強化促進事業について

#### (4) 要望活動の実施

- ・平成24年8月21日 関係省庁等への要望

## II 広報活動の実施

決算見込額 937千円

### (1) ホームページ及びメールマガジン等による情報発信

本協議会ホームページ上で随時情報発信を行うとともに、登録者にメールマガジンを発行し、関西国際空港に関する最新かつきめ細かい情報の発信に努めた。

また、関西経済連合会の機関紙「経済人」や大阪商工会議所の機関紙「大商ニュース」を活用し、本協議会の取り組みや関空に就航する航空会社等の紹介を行った。

### (2) PRパンフレットの作成

本協議会PRパンフレット「国際拠点空港としてのさらなる発展をめざして」を多言語(日・英・中)により作成し、要望活動実施時等に配布した。

## III 管理運営

決算見込額 861千円

本協議会の管理運営

- ・公認会計士の委嘱、事務局員の旅費、電話料金、郵送代、書籍の購入費 等

## IV 関西国際空港ゲートウェイ機能強化促進事業

関空を国際拠点空港として発展させるため、新関空会社との連携を図りながら、関空を拠点空港として活用する航空会社の誘致・定着、航空貨物の輸出入拠点の形成など「拠点化」をキーワードに、その実現に向けた事業を展開した。

### (1) 就航ネットワークの充実

決算見込額 284,789千円

本協議会のインセンティブ制度と新関空会社の着陸料割引制度を効果的に活用することで、「ピーチ」の関空での拠点定着のほか、他の航空会社への新規就航や増便の誘致等に努めた。

#### 1 就航奨励一時金制度の活用

##### ① 拠点化定着奨励一時金

- ・ピーチ・アビエーション(仁川線、香港線、台北線)

##### ② 旅客便基本奨励一時金

平成24年度中の新規就航・増便の実現

- ・チャイナエアライン(高雄線)
- ・トランスアジア航空(台北線)
- ・ジェットスター航空(シンガポール=ダーウィン線)
- ・エアプサン(釜山線)
- ・アジアナ航空(釜山線)

平成23年度以前の新規就航・増便分

- ・平成22年度分: 3社3路線
- ・平成23年度分: 10社10路線

## 2 エアポートプロモーション活動の実施

- ①地元自治体・経済界のトップ自らが先頭に立ち、海外エアライン、政府関係機関等を訪問し、関空への就航誘致、関西の魅力を発信するエアポートプロモーション事業を実施した。

### 海外プロモーション団の派遣（9団）

派遣団体		派遣時期	訪問先
促進協	大阪府・関西経済連合会	8月28日～9月1日	タイ（バンコク）
	兵庫県・大阪商工会議所	9月 3日～ 9日	米国（ニューヨーク、アトランタ、シアトル）
	大阪市・関西経済連合会	1月17日～19日	ベトナム（ハノイ）
大阪府		4月19日～21日	台湾（台北）
大阪府		9月13日～15日	マレーシア（クアラルンプール）
和歌山県		1月11日～15日	エジプト（カイロ）、トルコ（イスタンブール）
大阪府		2月 3日～ 8日	インド（ムンバイ）
関西経済連合会		2月10日～16日	インドネシア（ジャカルタ）、タイ（バンコク）
大阪商工会議所		2月12日	米国（シアトル）

### 国内プロモーション団の派遣（1団）

派遣団体	派遣時期	訪問先
大阪府・関西経済連合会・大阪商工会議所	9月18日	東京（全日本空輸(株)本社）

- ②プロモーションを効果的に行うため、関西地域の観光資源や関西産品などの魅力を強かに発信するためのプロモーションツールを作成した。

## 3 旅客需要創出サポート

航空会社に対する広告宣伝サポート

- ・チェジュ航空、チャイナエアライン、マレーシア航空

## 4 国際会議「ルーツワールド」への参画

アラブ首長国連邦（アブダビ）で開催された国際会議の場を活用し、航空会社等に対する関空のポートセールス等を実施。（平成24年10月1日～2日）

## 5 長距離国際定期旅客路線の継続就航サポート

長距離国際定期旅客線を長期間にわたり安定的かつ継続的に運航する航空会社に対し、インセンティブを付与。

- ・平成24年度支給実績：10社10路線

## (2) 貨物ハブ機能の強化

決算見込額 32,849千円

世界最高水準のクールチェーンの構築や、関西産品の「食」の輸出拡大など、関空の輸出入拠点化形成に必要な物流ルートの確立を図る取り組みについて、関係事業者等との連携のもと推進した。

### 1 「医薬品貨物」の輸出入拠点化の形成

- ①平成22年9月に関空島内に整備された「医薬品専用共同定温庫」の運営・管理を行う事業者に対する助成を実施。
- ②国際戦略総合特区と連携し、全国で唯一の輸入医薬品の薬監証明手続きの電子化実証実験が平成25年3月にスタート。

### 2 「食」の輸出拠点化の形成

関西産品の「食」の継続的な輸出拡大を図る取り組みを展開

- ・マカオでのBtoB商談会の開催（平成24年7月28日）
- ・バンコク（タイ）での物産観光展の開催（平成24年8月30日～9月9日）
- ・海外のバイヤーを招聘した商談会の開催（平成25年2月20日）
- ・バンコクのホテルでの関西フェアの開催（平成25年3月11日～29日）

### 3 貨物需要の創出に向けたサポート

- ①関空を活用した物流ニュービジネス促進に対する支援
- ②関空の物流施設の利用促進を図る物流EXPO（医薬品）への出展
- ③「医薬品」、「食」輸出促進セミナー等の開催

## (3) 関空アクセス利便性向上

決算見込額 23,394千円

鉄道、バス、高速船などの交通事業者との連携のもと、各種の割引きっぷ等の造成を行うなど、アクセスコストの低廉化や販売PRのサポートに努めた。

### 1 企画きっぷの推進

- ・近鉄電車とリムジンバスとの片道セット割引
- ・サンダーバードとJR特急はるかとの往復割引
- ・神戸＝関空ベイ・シャトルの片道割引
- ・南海電車と大阪市営地下鉄との片道セット割引
- ・南海電車と近鉄電車との片道セット割引
- ・舞鶴・山陰方面からの長距離バス乗継割引 等各種企画きっぷの造成やPRを実施

### 2 アクセスルートの充実

- ・リムジンバスの増便及び停留所の新設（関空＝姫路線）
- ・神戸＝関空ベイ・シャトルの深夜早朝便の増便

#### (4) 観光ハブ機能の確立

決算見込額 10,322千円

国が提唱するVJ（ビジット・ジャパン）事業、関西の自治体などが実施する各種の観光事業との連携やフリーペーパーの積極的な活用などにより、海外から関空・関西へのインバウンドの誘致等に努めた。

##### 観光需要の開拓支援

- ・ 滞在型関西周遊ツアー造成促進事業
- ・ 近畿東中央部FIT促進事業
- ・ シンガポールからの誘客促進事業
- ・ 大阪・関西と沖縄のコラボレーション集客事業
- ・ 関西バジェットトラベラー事業
- ・ 関西観光フリーペーパーの作成
- ・ 関空旅博「2012」の機会を活用した海外旅行セミナーの開催 等